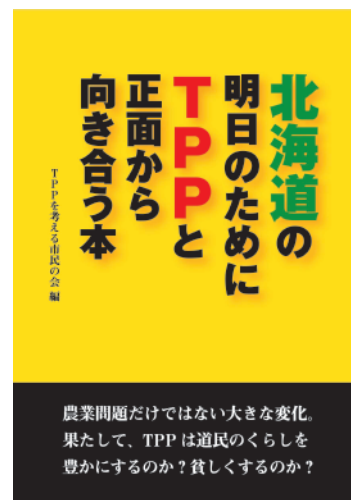


本のご紹介

タイトル	北海道の明日のために TPP と正面から向き合う本
編集	TPP を考える市民の会※
サイズ	A5判
ページ数	118 頁
頒価	400 円
発行部数	2,000 部

販売書店	■紀伊国屋書店札幌店	中央区北 5 条西 5 丁目
	■ジュンク堂書店	中央区南 1 条西 1 丁目
	■丸善札幌店	中央区北 1 条西 3 丁目
	■ちいさなえほんや「ひだまり」	手稲区新発寒 3 条 4 丁目
	■酪農学園大学生協	江別市文京台緑町



CONTENTS

■プロローグ 北海道から国民的議論を巻き起こそう	TPP を考える市民の会
■第一章 北海道からの報告	
TPPの本質	酪農学園大学特任教授 中原 准一
TPPで私たちの食といのちは大丈夫ですか	古屋農園百姓 古屋 勝
今、迫り来るTPPの恐怖！	北海道消費者協会主査 塩越 康晴
自給率低下で揺らぐ食の安全	北海道消費者協会非常勤講師 竹田 加代
TPP参加で医療はどうなる	北海道医師会常任理事 直江 寿一郎
簡保と共済の解体狙う米国	北海道農業会議事務局長 橋本 正雄
食料供給基地・十勝の重要性を忘れるな	北海道新聞帯広報道部 佐保田 昭宏
TPPで揺らぐ食料価格と食料安全保障	北海道大学大学院助教 東山 寛
TPP反対運動こそ日本経済再生への道	北海道大学名誉教授 太田原 高昭
■第二章 海外からの報告	
米韓FTAと韓国の実態	酪農学園大学准教授 柳 京熙
いのちを脅かす自由貿易協定	地域づくり実践教育センターエスカトン エップ・レイモンド
TPP—私たちは知る権利がある	アナリスト兼ジャーナリスト ブルースター・ニーン
	コミュニティーオーガナイザー キャサリン・ニーン
■エピローグ いのちを選ぼう	メノビレッジ長沼 荒谷 明子

本編プロローグより一部抜粋

私たち「TPPを考える市民の会」は、TPPで直接的損失が大きいのは地方であり、
その中でも最大は北海道だろうと考えています。もしTPPに参加すれば、
道内のほとんどの地域で、経済と社会と国土が危うくなるでしょう。

いや、地方への打撃だけでは済みません。

地方が疲弊すれば東京なども生きていけないはずです。

またデフレ悪化、食料自給率の低下、郵便や協同組合、医療の崩壊など、

国を危うくする多くの問題をはらんでいます。詳しくは各章各稿が述べていますが、

私たちは、TPPがこの国のかたちを将来、大きく変えてしまう大問題だと考えています。

(中略)

きちんとした国民議論を北海道から盛り上げたいと願って、

このブックレットを作ることにしました。資料を集め、議論してきました。

これは、TPPを道民の目でとらえ直し、初めて道民の協力でまとめた出版物です。

道民のみなさんがTPPを考える一助にしていきたいと願っています。

※TPPを考える市民の会 構成メンバー

NPO法人北海道食の自給ネットワーク、NPO法人さっぽろ自由学校「遊」、NPO法人地域づくり実践教育センターエスカトン、
北海道農業ジャーナリストの会、子どもたちの未来を創る会、ドリフターマン、中原准一(酪農学園大学特任教授)、
前濱喜代美(コープさっぽろ)、高橋一(酪農学園大学教授)、メノビレッジ長沼、生活クラブ生活協同組合、北海道有機農業協同組合、
農民運動北海道連合会、スローフード・フレンズ北海道、NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト、北海道有機農業研究会

一般の方々からのご質問・問合せ等(購入方法など)につきましては、

☎0123-89-2385 (NPO法人地域づくり実践教育センターエスカトン内**事務局**) までお願いします。

媒体社様からの編集内容や取材などに関するお問合せ等につきましては、

☎080-5593-3203 (子どもたちの未来を創る会 安川) までお願いします。